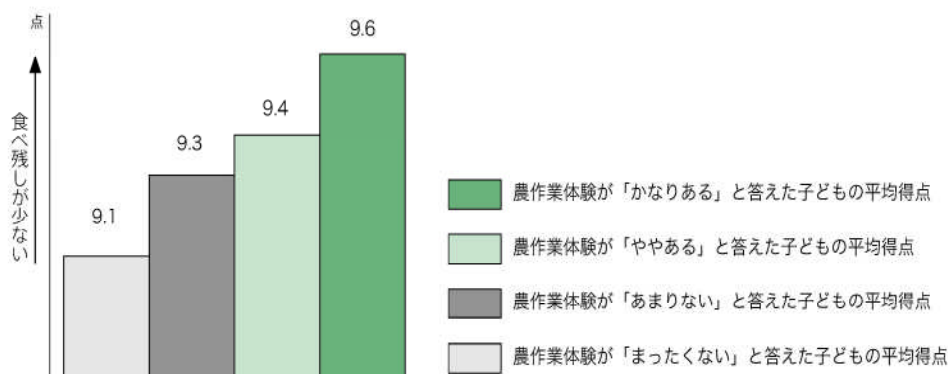


教育ファーム活動に参加することによって、もたらされる効果

教育ファームの活動に参加した子供たちの農業や食に対する意識が農業体験をすることで変わってきています。

農作業体験が「かなりある」と答えた子どもは、 食べ残しが少ない



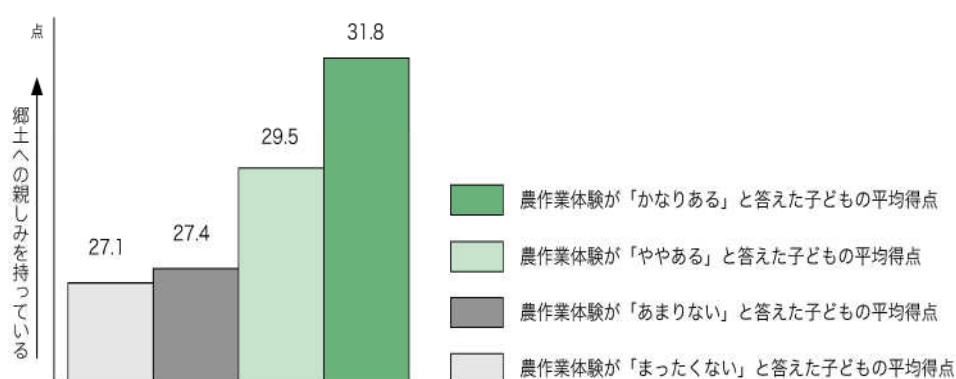
質問内容 (各質問について「まったくあてはまらない」: 1点～「とてもあてはまる」: 4点のポイントを付与する。4点×3問=12点満点/1人)

1. 食事はいつも残さず食べる
2. 好き嫌いせず何でも食べる
3. 食べ残しなく、きれいに食べる (例えば、ご飯粒も全部食べる)

※得点方式分析.

各質問について「まったくあてはまらない」: 1点、「あまりあてはまらない」: 2点、ややあてはまる: 3点
「とてもあてはまる」: 4点として、それぞれのポイントを付与して算出。

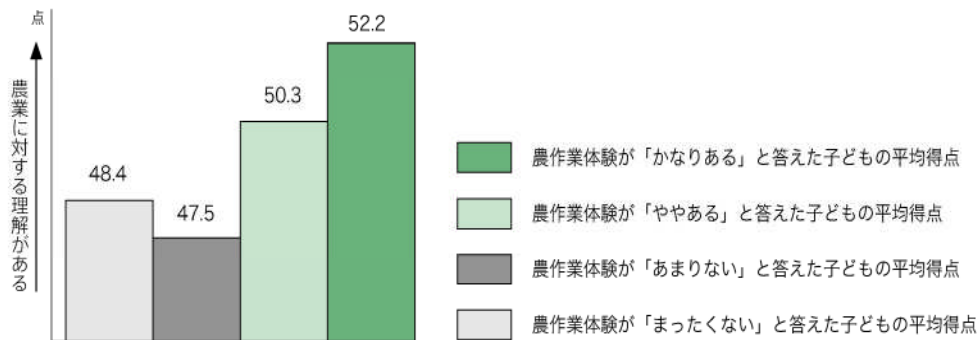
農作業体験が「かなりある」と答えた子どもは、 郷土への親しみを持っている



質問内容 (各質問について「まったくあてはまらない」: 1点～「とてもあてはまる」: 4点のポイントを付与する。4点×10問=40点満点/1人)

1. 自分の住んでいる地域が好き
2. 自分の住んでいる地域でとれる食べ物をよく食べる
3. 地域のお祭りや行事を知っている
4. 大人になってもこの地域に住みたい
5. 近所のおじさんおばさんとよく話す
6. 自分の住んでいる地域でとれる食べ物が何か知っている
7. 地域のお祭りや行事に参加する
8. 自分の住んでいる地域でとれる食べ物はおいしい
9. 食べ物を食べるとき、季節を感じる
10. 自分の住んでいる地域でとれる食べ物が好き

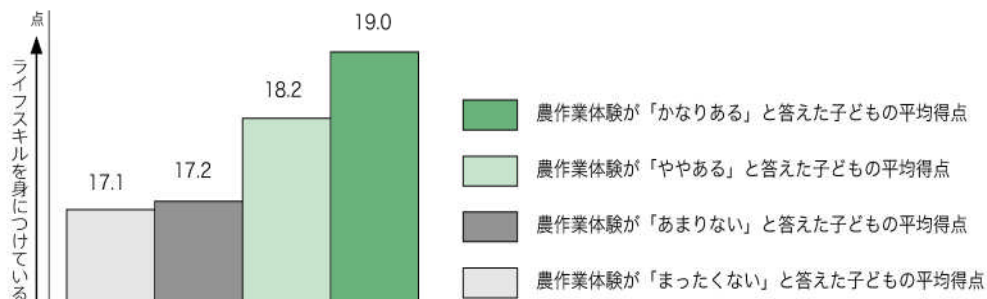
農作業体験が「かなりある」と答えた子どもは、 農業に対する理解がある



質問内容 (各質問について「まったくあてはまらない」：1点～「とてもあてはまる」：4点のポイントを付与する。4点×16問=64点満点/1人)

- 米や野菜、果物などを育てるには、多くの時間がかかる
- 農業は、自然を守りながら行うものである
- 米や野菜、果物などを育てるには、様々な人の協力が必要だ
- 農業は、わたしたちにとって大切な仕事である
- 買い物に行ったり食事をしたりするとき、その作物がどこで、どのように作られたものが気になる
- 農家の方々のおかげでわたしたちは食べ物を食べることがきる
- 農業の体験をしたい
- 農業の体験をするとき、服や手などが汚れるのが気になる
- 米や野菜、果物などを育てるには多くの手間がかかる
- 米や野菜、果物などの収穫は、天候により左右される
- 米や野菜、果物などを育てるのは楽しい
- 将来、農業に関わる仕事がしたい
- 米や野菜、果物などを育てるのが好き
- 農業の大切さを多くの人に伝えたい
- 米や野菜、果物などを育てるには、体力が必要だ
- 家族に、農業を教えたい

農作業体験が「かなりある」と答えた子どもは、 ライフスキル（生きるたくましさ）を身につけている



質問内容 (各質問について「まったくあてはまらない」：1点～「とてもあてはまる」：4点のポイントを付与する。4点×7問=28点満点/1人)

- 自分が何か良い事をしたら、私は自分のことを誇りに思う
- 自分が何か間違ったことをしたら誰かから非難されても仕方がない
- 自分はいい人だと思う
- 自分のことは自分で決められる
- 私は一人で何でもできる
- 私は、他のみんなと同じことをするのが好む
- 私は、何事にも一生懸命に取り組む

※「平成20年度教育ファーム推進事業」事業成果・調査報告書より
<http://www.edufarm.jp/seika/>